

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目E
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

【4月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2004年4月発行】



もくじ	ページ
企業とNPOの協働報告会/福祉NPO研修会	2~3
起業科講座/年度末講座/会計講習会	4
貸しブース/研修日誌/認証数	5
NPOバンク/はこび愛ネット	6~7
NPO研修日記 その9 NPOバンク	7
NPO総合情報誌 [えぬぴおん] 第10号	8
NPOな・・・書籍案内、イベント案内	9
NPOサポート事業のご案内	10
公益法人改革/情報BOX	11~12
助成金情報/会費納入のお願い	13~14



NPO推進北海道会議と北海道NPOサポートセンター
NPO法人化5周年記念レセプションのご案内

2004年4月16日(金)午後6時30分~

北海道クリスチャンセンター 2階講堂 (札幌市北区北7条西6丁目)

みなさまのご参加をお願いいたします (参加費5000円)

(参加費の一部をNPO越智基金とNPOバンクに寄附します)

NPO推進北海道会議結成から9年、北海道NPOサポートセンター設立から6年が経過しました。98年12月のNPO法の施行を受け、99年4月にそれぞれNPO法人化しました。それから5年の節目を迎え、みなさまと歓談のひとつきを企画いたしました。ぜひご参加ください。

- 総合司会 佐藤隆NPO推進北海道会議事務局長
1. 主催者挨拶 田口晃NPO推進北海道会議代表理事
 2. 来賓挨拶 上田文雄札幌市長
山岸秀雄NPOサポートセンター理事長
 3. 乾杯 歓談 スピーチなど
 4. 感謝状贈呈 北海道労金 札幌通運 合田観光商事 日本財団など
 5. 越智基金支援先 成果発表 スライド PP ビデオなど 2~3団体
 6. 推進会議・サポセンの「過去・現在・未来」
 7. ピンゴなど余興 パフォーマンス 役員・スタッフ紹介など
 8. 閉会挨拶 杉山さかえ北海道NPOサポートセンター理事長

問い合わせ・参加申し込み NPO法人 **北海道NPOサポートセンター**
 〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
 TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524 E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

日本財団助成事業 企業とNPOの協働推進報告会開催のご案内

4月16日(金)午後2時～午後4時30分

北海道クリスチャンセンター2階ホール(札幌市北区北7条西6丁目)

全道7地域で実施してきました企業とNPOの協働推進事業の総決算として「企業とNPOの協働推進フォーラム」を開催します。当事業は地域活性化という目的を共有しNPOと企業という組織形態の違いを超えた協働を推進するために実施してきました。

協働のモデルとなる事例の紹介や今後の地域活性化に向けた企業とNPOの取り組みについて話し合います。NPOの活動について知りたい企業関係者の皆さん、企業と協働で事業展開をしたいNPO関係者の皆さん、是非ともご参加下さい。

定員：150人 参加費500円(資料代として)

プログラム(予定)

企業とNPOの協働推進事業について 経過報告 北海道NPOサポートセンター 関根友則

「各地の企業とNPOの協働事例発表」

活力ユニット	代表	丸藤 競	(函館)
北見NPOサポートセンター	事務局長	谷井 貞夫	(北見)
旭川NPOサポートセンター	理事長	森田 裕子	(旭川)
とかちシニアネット	理事長	高橋 克司	(帯広)
北海道グリーンファンド	事務局	小林 ユミ	(札幌)
冒険の森未来工房	理事長	金田 倫知	(苫小牧)

パネルディスカッション「地域活性化に向けた企業とNPOの協働」

パネリスト

地域生活支援ネットワークサロン	事務局代表	日置 真世	(釧路)
株式会社モロオ	常務取締役	鈴木 康弘	(札幌)
すきっぷ	代表	阿部 皎	(帯広)
NPO推進道南会議	事務局次長	道畑 克雄	(函館)
コーディネーター 北海道NPOサポートセンター	事務局長	小林 董信	

問い合わせ/参加申し込み 北海道NPOサポートセンター(担当関根)

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

北海道新聞社会福祉振興基金助成事業

「福祉NPO法人スタッフ研修会」のおしらせ シンポジウム ～介護保険、支援費制度をどう活用するのか～ 先駆事例から学ぶ 福祉NPO法人の未来

4月17日(土)午前10時～午後4時(予定)

札幌市中央区民センター(札幌市中央区南2条西10丁目)2階つどいA・B他

交通機関：札幌市営地下鉄東西線西11丁目下車徒歩5分。自家用車 国道230号線をはさんで西向かい中央区民センター駐車場使用可。センター北側に車いすマーク駐車スペース有り。

企画趣旨：全道でNPO法人約60事業所が介護保険事業及び支援費事業を行っています。これらの事業所に所属するホームヘルパーや支援員、事務職員に対する研修が一部を除いてほとんど行われておりません。こうした状況を改善する目的で、専門家の講演と先駆事例を持つ実践者をパネリストとするシンポジウム研修会を企画しました。

参加費：無料(但し資料代として実費一人600円)

参加者：福祉NPO法人スタッフ、研究者、福祉事業者、報道関係者 80名予定(会場定員84名)

主催：NPO法人北海道NPOサポートセンター 助成：北海道新聞社会福祉振興基金

協力：北海道介護NPO連絡会(依頼予定) STネット北海道(依頼予定)

日程・内容(案)

午前10時～開会「北海道の福祉NPOを取りまく状況」報告 小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長
 午前10時20分～11時10分「福祉NPOの役割と課題」講演 杉岡直人北星学園大学教授
 午前11時10分～12時 「介護系NPOの最前線」

～介護保険法、支援費制度、移送・移動サービスの行方～
 講演 田中尚輝 NPO法人市民福祉団体全国協議会事務局長

午後12時～1時 昼食休憩 昼食弁当予約(一食550円)
 (午後の部)分科会とまとめ(パネリストとコーディネーターはいずれも依頼予定)

午後1時～3時00分 分科会

【分科会1】(定員18人)参加型パネルディスカッション ～支援費制度をどう活用するのか～

支援費制度に参入している事業所とこれから参入を予定している事業所スタッフ対象。

現状の課題、問題点を出し合い集約する。制度の将来見通しの分析・情報共有。

コーディネーター 杉岡直人(北星学園大学社会福祉学部長)

パネリスト 石澤利巳(札幌・札幌市小規模共同作業所連絡協議会(札作連)会長・
 障害者活動支援センターライフ専務理事)

日置真世(釧路・地域生活支援ネットワークサロン事務局代表)

平賀貴幸、(網走・夢の樹オホーツク専務理事)

【分科会2】(定員42人)パネルディスカッション ～介護保険制度をどう活用するのか～

介護保健指定事業所対象 主に他の研修(ケアマネ研修や介護実習等)では知り得ない部分、例えば自主事業(有償ボラ含む)と介護保険事業のバランス、事務や請求・会計処理業務、資金計画、契約や保障態勢といったマネジメントに関する悩みなどの解決につなぐ。

コーディネーター 清野光彦(新得・地域支援センターちいさな手 理事,北海道介護NPO連絡会代表)

パネリスト 倉地美置(白老・どんぐりの家 総合施設長)

小谷晴子(札幌・アシストセンターマザー 理事長)

深瀬啓子(札幌・北海道たすけあいワーカーズ・ぼっけ ケアマネージャー)

【分科会3】(定員20人)参加型パネルディスカッション ～移送・移動サービスの行方～

国土交通省と厚生労働省の話し合いの結果、一定の方向が出たが、今後どのような展開になるのか。NPO事業者としての特徴をどのように出すのか。制度の見通しの共有など。

コーディネーター 田中尚輝(市民福祉団体全国協議会 事務局長)

パネリスト 澤出桃姫子(札幌・ホームヘルパーノア事務局長)

竹田 保(札幌・ホップ障害者地域生活支援センター代表)

星川光子(登別・いぶりたすけ愛 理事長)

午後3時～4時

まとめ 集会 分科会報告と質疑,まとめ アドバイザー 杉岡直人氏 田中尚輝氏
 午後4時終了(最大延長4時30分)

問い合わせ、参加申し込み NPO法人 北海道NPOサポートセンター
 〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
 TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524 E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

予告：NPO推進北海道会議と北海道NPOサポートセンター通常総会を
 5月25日午後6時30分～札幌市中央区民センターで開催いたします。

道民カレッジ連携講座（北海道NPOサポートセンター実施分）

いずれも会場は札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階研修室

NPO起業科講座短期集中コース

開催日：4月12日（月）～4月26日（月）時間：午前10:00～12:00

会場：札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F北海道NPOサポートセンター研修室

定員：20名 受講料：10,000円（全5回、資料代込）対象 NPO法人をこれから立ち上げようとする方。既にNPO法人を立ち上げているが復習したい方。NPO法人のスタッフ等。

第1回 4月12日（月）「NPOとは何か」（担当：小林董信）

第2回 4月14日（水）「NPO設立実務」（担当：山本純子）

第3回 4月19日（月）「NPOの会計、労務管理」（担当：松本公洋）

第4回 4月21日（水）「NPOの事例研究」（担当：関根友則）

第5回 4月26日（月）「NPOの事業計画」（担当：関根友則）

講座名	定員	受講料	日程	備考
NPO起業科短期集中コース	20	10,000	4月12, 14, 19, 21, 26日 (10:00～12:00)	5回
NPO起業科短期集中コース	20	10,000	5月31日, 6月2, 7, 9, 14日(10:00～12:00)	5回
NPO会計講座	10	6,000	5月10, 12, 17日(18:00～20:00)	3回
NPO会計講座	10	6,000	6月21, 24, 27日(18:00～20:00)	3回
NPOパソコンプレゼンテーション	10	6,000	5月20, 24, 27日(18:00～20:00)	3回
NPOパソコンプレゼンテーション	10	6,000	7月1, 5, 8日(18:00～20:00)	3回

『NPO法人の年度末事務講座』～総会運営から変更登記まで～

NPO法人は事業年度終了後3カ月以内に「通常総会」を開催し、事業報告と会計報告を所轄庁（道庁）に提出義務があります。（課税団体は5月末までに税務申告が必要です。）さらに、正味財産や役員変更、事務所変更などの登記が必要です。多くのNPO法人が慣例で4月～翌年3月の事業年度になっています。そこで、NPOサポートセンターでは4月と5月の2回に分けて「総会運営」「年度末書類」「登記」の3分野について「年度末事務講座」を企画しました。ご参加ください（4月と5月は同一内容です）。

各回定員15名 参加費1000円（一人1日）

会場：札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F北海道NPOサポートセンター研修室

日程：4月コース。5月コースとも午後2時～5時

4月コース

4月19日（月） 総会運営講座

22日（木） 年度末書類作成講座

23日（金） 変更登記講座

5月コース

5月17日（月） 総会運営講座

20日（木） 年度末書類作成講座

21日（金） 変更登記講座

講師：総会 小林董信 年度末書類 山本純子 登記 大滝和子司法書士

会計決算事務については、上記道民カレッジ「NPO会計講座」（5月10日～）をご活用ください。税務申告に関しては、NPO会計に詳しい税理士をご紹介します。お問い合わせください。北海道NPOサポートセンターでは、事業展開、会計・労務管理・リスク管理など組織運営に必要な相談を随時承っております。（会員に対するサポートです。詳しくは12頁を参照してください。）

問い合わせ / 参加申し込み 北海道NPOサポートセンター

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

NPO インターンシップ報告会

3月19日報告会開催,32名が参加。学生や受入団体の感想から充実したインターンシッププログラムが実施できたことが伺えました。満足度の高いプログラムを実施できることはわかりましたが、それがより多くの人に向けて、システム化されることにより、現在のクオリティを保てるのが課題と思います。かなりのコストとボランティアの支えがあって成り立つプログラムであり、内容の評価を得た反面今後の課題について再認識しました。（関根）

就職活動・起業準備の拠点として期間限定の活動拠点をお貸しします
 就職活動や、起業に向けて準備をされている方を対象に、活動拠点としてご利用頂ける机
 1つ分の事務所をお貸しします。当事務所は札幌駅から徒歩4分のところにあり、札幌中
 心市街地で活動するには便利です。

利用料金1ブース1日500円 パソコン貸出1日500円(インターネット接続可能)
 全10ブース(1ブースは机1台、イス1脚)

利用時間平日(月~金)の10時~18時まで。土日、祝日はお休みです。

利用期間4月1日~5月31日までの間でご希望の期間でお申込頂けます。

先着順(10日以上の日数でお申込み下さい、ブースの空き状況によっては延長することも可能です)

問い合わせ/申込 電話番号 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

北海道NPOサポートセンターは、NPO活動を支援する民間の非営利団体です。これまで3年間に
 わたり、雇用能力開発機構や北海道立札幌高等技術専門学院と協力し、失業者を対象にNPO起業科
 講座を開講してきました。当講座の卒業生は、NPOや会社で起業したり、就職したりそれぞれの道
 に進んでいます。この度は起業や就職活動の拠点があつたら便利、というニーズにお応えする形で、
 当企画を実施することとなりました。お気軽にお問合せ下さい。

NPO研修日記 その11

千葉 やすし 泰嗣



とうとう終わりです。1年間という期間も過ぎてしまえばあっという間でした。
 仕事においては、自分が行なった委託事業や助成事業の申請が落選することが
 多く、頭が固いのかと落ち込むこともありましたが、正直、仕事は楽しかった
 です。行政で勤務をしていると、仕事をやらされているという思いが生じてし
 まうことや、誰のために仕事をしているのか忘れてしまうことも、多々ありま
 す。今回の研修で改めて、行政の仕事とは、と考えさせられた一因となりまし
 た。この思いをそのまま戻って活かせるほど、私はリッパな人間ではありません
 せんが、意識をもち続けることが、将来につながると思っています。

NPOとは全然関係のないセクションに戻るのですが、人と人との出会いは
 1~2年という短いものから、10~20年間という幅の広いサイクルまで
 多々あり、再びお目見えすることもあると思います。NPOの皆さまにおかれ
 ましては、この1年間色々勉強させていただきありがとうございました。来年
 度(4月1日)からは、北海道からの民間研修として「濱市」が、北海道NPO
 サポートセンターにお目見えしますので、よろしく願いたします。

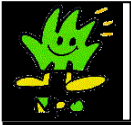
特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等
 内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「北海道含む」 2/29現在(内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	17163	15578	60	156
道内の申請受理数 2/29現在(北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	615	576	0	3

認証数の多い県(人口比) 認証数の多い県(人口比) 東京 3157、 群馬 302、 京都 399、 大阪 1245、
 三重 219、 福井 105、 長野 315、 高知 103、 滋賀 160、 神奈川 910、 沖縄 132、 石川 116、
 山形 120、 山梨 90、 北海道 576、 福岡 487、 宮城 228、 大分 138、 静岡 356、 岡山 187

北海道(道庁)では、インターネットで情報提供しています。

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>



NPOバンク ぽんたーん

2004年3月
Vol.10

GoGo北海道NPOバンク

講演日記

北海道NPOバンク 理事長 杉岡直人

2004年1月17日 「エコ貯金フォーラム」～貯金を変えれば社会が変わる～に参加して



A SEED JAPAN では、「環境社会配慮（環境や社会的な問題に配慮して融資を行うこと）」を特徴としている金融システムを「エコ貯金」と呼んでいる。「エコ貯金」には、大きく三つのタイプに分けることができる。

第一は、預・貯金型であり、ふつうの銀行と預金形態は同じだが、目的が非営利の金融機関。中小企業や自営業、地域住民への融資を中心にしている労働金庫・信用金庫 etc

第二は、出資型であり、社会性のある会社・事業に融資をする、非営利の小規模バンク。特にNPOなど、大手の銀行からの融資を受けにくい社会的事業の資金確保に役立っている 未来バンク、市民バンク etc

第三は、投資型であり、主に上場企業が対象。株や債券を買うことで、企業を応援または意見することができる。手法としては、SRI（社会的責任）指

標やNGOが発信する企業情報等を参考にした個人投資などに分けられる。

さて、今回のフォーラムは、貯金を通して環境・社会問題に取り組んだもので、エコロジーと貯金の関係。私たちの預けたお金がどこに運用されているかということ意識し、より環境や社会に配慮したお金の流れを作ろうと呼びかけたものである。基調講演では、金子勝氏（慶應義塾大学教授）と水口剛氏（高崎経済大学助教授）を迎え、金融の現状そして新たなお金の流れを中心に講義を受けたあと、後半は、3つの分科会（出資型、預貯金型、投資型）を設けて展開された。私の参加した出資型分科会のコーディネーターは、未来バンク事業組合（田中優理事長）であり、報告者は、北海道NPOバンク（杉岡直人理事長）、岩手県消費者信用生活協同組合（横沢善夫専務理事）、女性・市民信用組合（WCC）準備会（向田映子代表）、東京コミュニティパワーバンク（坪井眞理）、長野県夢バンク（NPO：田中理事）が務めた。これからの市民出資型のバンク事業を定着させ地域の市民活動を支えるバンクとしての方向性と課題について、熱い議論が繰り広げられた。出資型バンクは、目標として参加者が出資型の可能性を力強く感じ、その取り組みが各地域で活発に行われるようになることである。そこでは、出資型のシステム（意義、メリット、必要性、問題点など）を明らかされなくてはならないこと、システムのポイントとして、元本を保証する預金ではなく、本人の意志に基づいた出資で資金を調達すること、融資の対象はNPO/NGO活動であること、無担保融資に際して審査がそれなりに工夫されていること、貸し倒れは（ほとんど）ないこと、コミュニティバンクとして、各地域に誕生すべきものであることが強調された。最終的には、地域再生の課題であるグローバル化した経済にどう立ち向かうべきか、出資者をどうやって募るか、リスク管理はどうするか、融資先をどのように開拓するかなどについて議論された。

2004年2月22日 「沖縄NPOセミナー」～これからはじまる、私からはじめる～へ参加して

私がNPOバンクを設立するように励ました沖縄スタッフへのアドバイスは、第一にNPO支援バンク=NPOが活用しやすい仕組みづくりであり、NPO支援という発想は、行政の立場からアイデアを出していることになっていくことに気づかないといけないということ。行政の立場でバンクをつくると行政からは資金（出資）が期待できますが、北海道のように一般市民への浸透が弱くなってしまふ。沖縄の伝統である「もあい」は、大手銀行の進出を困難にし、地下経済のようなダイナミックな展開をみせていることです。模合（もあい）というのは、沖縄に定着している古くて進化しつづけている金銭的相互扶助システムです。仲間として会ができるとメンバーが定期的集まって一定の金額を出し合い、その集まったお金で、ゴチになったり、順番に集まった資金を受け取る（最後は、皆おなじお金を受け取るように、一巡するまで同じ人はお金を受け取れない仕組みです。お金をとる人をクジや入札で決めるなど、模合（もあい）ごとにいろいろ取り決めがあります。歴史的にみると無尽講や頼母子講という内容に近い。この背景には、戦後の沖縄で、金融機関の整備が遅れたことが、あげられるということだが、紙くずになった戦後通貨改革で、自分のお金を自分たち信じ合える仲間を守るという意識が強いと思われる。現在は、一回に出す金額も一万円とか二万円。親戚同士や、職場仲間や友達のコミュニケーションの場として気軽に楽しむ模合（もあい）が多い。何カ月かに一度、数万円の臨時収入があるのは、楽しみがあるということでしょう。実際のところは、積み立て預金の前どりシステムであるから順番に大金？がすぐ使えるというところに強みがあるし、仲間であれば、きちんと積み立てできるというものです。



結局、もあいの精神は自立互助であり、自主解決をお互いのリスクと楽しみとの共有として実現するものなので、バンクの基本は、資金を必要としている関係者が出資をおこなうことで第一義的な課題をクリアするという事です。自分たちが必要としている資金をどこからか出してもらうことで解決しようとするれば、自助努力は介在しないことになりません。これは、北海道 NPO バンクの反省点でもあります。必要だろうという発想でお節介？を先行させ、あとから「出資をして事業組合に参加しましょう」という呼びかけは、他人事への協力というスタンスを生み出します。その意味で、先行させるのは、NPO の乱立と経営に対する認識を高めて、事業体としての NPO を自覚できる団体を拡大し、連帯組合としての特徴をうながすことでしょう。

ただし、むりなく楽しく生活をエンジョイする時代にあつて、この考えを通すことは難しく、沖縄の人々はあくせくせず平和的に生活する文化を基調としているところに多くの日本人が憧れと敬意をいただいているのが、沖縄の固有の文化といえるのではないのでしょうか。

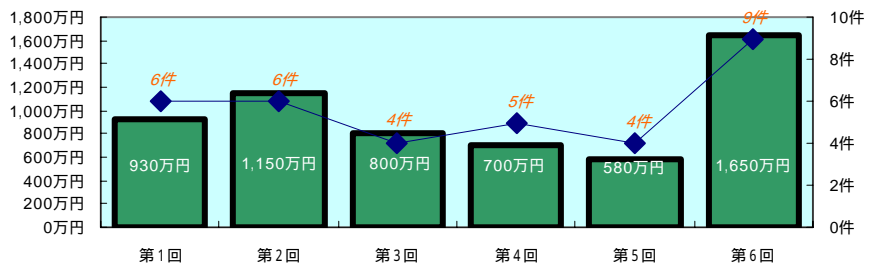
もあいの発想は、NPO によく似ています。いつも新しい仲間を見つけて、もあいは増殖しているの、古い人間関係を維持しようとしているわけではありません。同士の確認をする場であり、仲間が仲間を引き込んでいます。あきらかに共同体ではなくアソシエーション（意思のある人々の連合）になっているのです。お金がからむ NPO の問題は、もあい文化のなかで、すでにルール化されています。他の地域でも、もっと「もあい」を考えるつどいをやるのが大事であると痛感しました。仲間でありつづけることは、仲間をつくったり見つけたりする以上に大変ですが、そこに負担をもちこむことで強い連帯主義が作り出されています。閉鎖的な要素もありますが、アソシエーションは、開放的です、出入り自由な組織が特徴です。沖縄には「もあいバンク」しかない。間違いない。と扇動してきました。夜の懇親会で7月のバンクフォーラムに是非きてほしいと沖縄焼酎久米島久米仙を飲みながら説得しました。最後に20年くらい前のゼミの卒業生が沖縄生活を送っていて NPO セミナーに参加していたのは、NPO 実践者として教育効果？なのかと自賛した次第です。

北海道NPOバンク第6回融資決定

第6回の融資審査が終了し、9団体のNPO法人等に1,650万円の融資が決定されました。NPOバンクの融資も第6回を数え、34団体に5,810万円の融資を実施してきました。そのうち、全体の約74%が札幌市内に主な事務所を有する

団体で、全体の約65%が保健福祉を活動分野とする団体で、主につなぎ資金として融資が利用されています。

今後は、融資申込時期を知らないという団体もあることから、広報による周知の徹底を行なってまいります。



2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

第7回融資	申込開始：4月19日～5月7日	・融資実行：6月中旬
第8回融資	申込開始：7月26日～8月20日	・融資実行：9月下旬
第9回融資	申込開始：10月～11月	・融資実行：12月中旬

左記の日程は予定です。状況によっては変更する可能性があります。融資書類はURLから取り出せます。

お知らせ・お願いコーナー

サポート便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います

NPOバンクに関する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内
TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524 <http://npo-hokkaido.org/>

引越し・旅行・車検のことなら…「札通」はこび愛ネット”をご利用ください！

ご存知かもしれませんが、飛んで！車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札通さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して！」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの？申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行（札通トラベル）車検・自動車修理（札通自工）と文房具（札通商事）などの購入です（一部対象外あり）。ぜひご利用ください。問い合わせ・申し込みは「札通はこび愛ネット」推進事務局（札通労組内） 電話 011-251-4120 FAX 011-251-3315

北海道NPOサポートセンターが発行する

北海道のNPO総合情報誌 [えぬぴおん]

第10号(4月25日発行)の主な内容

偶数月中旬発行

グラビア 上田札幌市長VS逢坂ニセコ町長対談 / NPO図鑑 / 環境 PEACE Festa
フロントインタビュー

コンサドーレ石水勲さん / スポーツライター伊藤龍治さん / バーバリアンズ平島英治さん

特集 スポーツで北の街を元気に! 総論??

その1 スポーツNPOを追って その2 地域をいきいきさせる道内発祥スポーツを追って
昭和南山雪合戦(壮瞥), 国際パークゴルフ協会(幕別), NPO伊達カーリング協会,
長靴ホッケー(釧路町), ミニバレー(大樹), テニボン(様似), 丸太ずもう(中川),
ゲートボール(芽室), グリーンボール(江別), ゴロッキー(北広島)

現場百景 NPO日本園芸療法士協会(南区), NPOアースウィンド, NPOコンポータルパワー

それゆけ! NPO NPO環の会(伊達), 環境とエネルギーを考える会, もぐらクラブ,

新・飛びまわれ車いす コミュニティな場をもとめて カフェパーリッシュ

ねおすのNPO的経営談義 ワーカーズがゆく

この人に会いたい はた万次郎(漫画家)北海道弁カルタの作画・下川で田舎暮らし

コミュニティビジネスの可能性 片岡勝さん講演会

アメリカのNPO報告 連載 難民キャンプの子供たち イタリア食事情

新・野生生物最前線

NPO会計誌上講座 その2 全国版 NPOサポート情報東京ボランティアセンター

市民活動をサポートする施設 北海道女性プラザ 道内NPOサポセン便り旭川 北見 釧路 函館

道内トビックス 逢坂ニセコ町長&上田札幌市長対談(ナチュラブ北海道) / ごみをださない生活の工夫

赤星たみこ講演会

えぬぴおんバックナンバー紹介「えぬぴおん創刊号」2002年10月1日創刊! <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海
学園大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい
波を起こすために」宮田昌和さん(BizCafe 運営会議議長) NPO現場百景 / ・札幌チャレンジド・「えぬぴおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ / NPO・NGOスタッフトレー
ニング / DPI世界会議 <フロント対談> 田中康夫(長野県知事) vs 逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢
者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大佐藤郁夫先生の対談。「えぬぴおん第3号」2003年2月20日発行 グラビア 1・17災害救済ネットワークコンサート / 札幌子ど
も会議 / 市民活動フォーラム <フロント対談> 香山リカ / 逢坂誠二 この人に会いたい! 東原太陽
グループ社長「えぬぴおん第4号」2003年4月20日発行 フロントインタビュー 地域創造をめざして札幌学院大学大学
院教授 上田陽三さん これからは、大学で市民活動やNPO, コミュニティビジネスを学ぶ時代?
この人に会いたい! 若者に人気のイベント企画屋うわさの仕掛け人、木野哲也さんに接近。「えぬぴおん第5号」2003年6月16日発行<フロント対談> 「地域が輝くとき---映画でまちおこし」映
画「田んぼ de ミュージカル」とショートフィルム崔洋一(映画監督) vs 久保俊哉「えぬぴおん第6号」2003年8月13日発行フロント対談「崩れた社会のネットワークをどう回復させるか~
NPOが重要な役割を果たす~」札幌市長上田文雄さん vs シナリオライター小山内美江子さん「えぬぴおん第7号」2003年10月25日発行フロント対談NPOが日本を変える「一人ひとりが自己実現で
きる社会をめざして」上田文雄(札幌市長) x 北川正恭(前・三重県知事・早稲田大学大学院公共経営研究
科教授) x 早瀬昇(特定非営利活動法人 日本NPOセンター常務理事) NPO全国フォーラム北海道会議のオ
ープニングフォーラムより収録。民間人であり、NPO理事から札幌市長になった上田文雄氏、三重県知事か
らNPO人になった北川氏らが「NPOは真の民主主義実現の担い手になりうるか」をテーマに語りあう。「えぬぴおん第8号」(12月20日発行) アラエル号でエコな生活 ・おもちゃフォーラム・札幌市民
1000人ワークショップ フロント対談「北海道に夢とパワーを! 起業を考える」NPO法人札幌ビズカ
フェB2代表 宮田昌和さんVS. HCM(ヒューマン・キャピタル・マネジメント)代表取締役 土井尚
人さん 特集 新しい働き方「起業」・総論「起業のススメ」札幌学院大学河西邦人さん・アントレプレナ
ー講座参加者アンケート・NPO起業成功事例・生活者として地域と仕事をつくりだす 「ワーカーズコレ
クティブ」という働き方・ベンチャー起業成功事例「えぬぴおん第9号」(2月25日発行) Zoom Up 道民とともに森づくりの集い・NGOとこんに
ちは! NGO屋台村 フロント対談「NPO法は2年後になくなる!?!」IHOE代表川北秀人さん x N
PO推進北海道代表会議代表理事杉岡直人さん 特集「ボランティアスピリッツで生きる!」
ワーカーズがいく 子育て支援ワーカーズ「プチマト」 現場百景・浪花町十六番倉庫(釧路
市)・札幌VO それゆけNPO 全道の森と川の生態系・環境の守り手に
スキнкаモフラージュ技術をQOLの向上に 新連載・飛びまわれ車いす 飛んでけ車いすの会

書籍案内

『病院近くのわが家』

- 難病の子と家族の滞在施設をつくる -
 岩井啓子著・(株)自由国民社
 定価 1,260円(税込み)



ファミリーハウスとは、小児ガンなどの難病児とその付き添い家族の闘病生活を支援するため、病院の近くに用意されている滞在施設のことです。

この本は、執筆者でもある故岩井啓子さんが、永年の取材を基に書かれた一冊で、ファミリーハウス運動の原点とも言える書籍です。内容は以下にサブタイトルを記すこととします。

- 1章：アメリカでマクドナルドハウスをつくる
 - 2章：ファミリーハウスが日本に誕生
 - 3章：サポーターは知恵をしぼる
 - 4章：全国の滞在施設がネットワークに
 - 5章：銀座にファミリーハウスをつくるという果敢な試み
- ・・・などで、広くこの運動をご理解頂ける内容です。

【お問い合わせ】

北海道ファミリーハウス 011-716-4161
 特定非営利法人ファミリーハウス 03-5825-2933

書籍案内

2004年度版
介護事業所ガイドブック発売中!!

札幌市介護保険・福祉サービス「事業所ガイドブック」講評発売中です!!。札幌市内事業所1336カ所!を掲載。(一部市外を含みます)サービスの提供地域やサービスの時間、人員体制、利用料金、などなど情報が満載の一冊です。

介護保険事業所は在宅・施設サービスのほとんどを収録。介護保険対象外サービスは下記を掲載。

- 【介護保険対象外事業所】
- ホームヘルプサービス
 - 理美容サービス
 - 配食サービス
 - ミニデイサービス
 - 移送サービス
 - 養護老人ホーム
 - 軽費老人ホーム
 - 高齢者共同住宅
 - 札幌市在宅介護支援センターの情報も併せて掲載しております。
- 是非お手元にどうぞ。
 発行 北海道NPOサポートセンター
 [A4版 448ページ定価税込み 2000円]
 問合せ TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524



NPOな...

書籍案内 人・ささえ合い

～岩見太市 福祉の人生考～「いきいきシニアライフ」でおなじみの「NPO法人シーズネット」代表、岩見太市氏のコラム集が完成しました!

この本は、朝日新聞北海道版コラム欄に連載されたコラムを収録したもので、長いシニア人生を安心して生きるためのライフプランを創造し、豊かな高齢社会を迎えるため、団塊の世代の高齢化をも先取りした光景を描いたものです。 価格は650円(税込)。

【著者紹介】～岩見太市 氏～

- ・NPO法人シーズネット代表
- <略歴> 1965年同志社大学法学部法律学科卒業
- 1979年知的障害者生活施設かりがね学園創設、初代園長。1986年医療法人溪仁会西円山病院事務部長、医療福祉部長。2000年札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部長。
- <公職> 北海道介護支援専門員支援会議委員長等
- <主な著書> ・介護保険時代こう生きる こう支える(北海道新聞社)・高齢期を生きる福祉コミュニティ(中央法規出版)・高齢社会を支える豊かなボランティア活動(秋桜社)・かりがねへの道(集美社)他

【お問合せ】NPO法人シーズネット tel 011-717-6001 FAX 011-717-6002

E-mail: seedsnet@abelia.ocn.ne.jp
 札幌市北区北10条西4丁目1番地 SCビル

書籍案内

エコへの一步 -買う・働く・貯金する-

発行：A SEED JAPAN 装丁：A5版74ページ
 定価：500円(税込)

この本は「買うこと」「働くこと」「貯金すること」を変えることがどういう意味を持つのか、どうすれば変えることができるのかを私たちが考えた結果である。「ライフスタイルの変革」などというとなんだか押し付けがましく聞こえるかもしれないし、私たちの提案がすべてだというつもりもない。けれども、この本の中で気に入ったなにかが見つかったら、実際に試してもらえれば私たちもこれ以上の幸せはない。一人一人の行動が社会を変える力になるのだ。「人間はみずからつくるところのもの以外の何ものでもない(サルトル)」はじめにより。

お問い合わせ：北海道NPOサポートセンター
 電話：011-204-6523 FAX：011-261-6524
 E-mail：npo@mb.infosnow.ne.jp

